第1学年2組国語科学習指導案

町田市立　小山小学校
2026年11月13日（金）5時間目
対象　第1学年2組　31名
指導者　教諭　本谷　志穂

1 単元名 「せつめいする 文しょうを かこう」

2 単元の目標

○　事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。（知識及び技能）
○　事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。（思考力，判断力，表現力等）
○　分かりやすい説明の仕方について興味をもち、説明の順序に気を付けながら、見通しをもって自動車図鑑を作ろうとする。（学びに向かう力，人間性等）

3 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準	事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。	「書くこと」において、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。	分かりやすい説明の仕方について興味をもち、説明の順序に気を付けながら、見通しをもって自動車図鑑を作ろうとしている。

4 単元構想

（1）児童について（児童観）

1学期に「おおきく なった」の教材で、観点をもって対象をよく観察し、気付いたことを文章で記録する学習を行った。自分で育てた朝顔を観察する活動で、「おおきさ」「かたち」「いろ」「かず」「におい」「さわったかんじ」など、観察する観点をもたせることで、気付いたことを具体的に見付けられるようになってきた。しかし、観察したことを言葉にして表現することには難しさがあり、教師の手本を参考にする際には、内容や表現をそのまま写して文章を書く児童も多い。

また、自分で気付いたことを伝えたいという思いはあるものの、何を書けばよいかを整理したり、相手に分かりやすく伝えるために必要な情報を選んだりすることには課題がある。

本単元では、児童にとって身近で興味をもちやすい自動車を題材とし、自分が書きたいと思う自動車を選ぶことで、読み手に伝えたいという意欲を高めさせたい。また、「じどう車くらべ」で学習した「しごと」と「つくり」という観点を手掛かりにして必要な情報を集め、友達の意見を取り入れながら、自分が伝えたいことを整理し、自分の言葉で文章に表すことができるようにしていきたい。

（2）教材について（学習材観）

自動車は多種多様であり、児童にとって興味をもちやすい題材である。また、「じどう車くらべ」の学習を経ているので、「しごと」と「つくり」に着目して情報を集め、構成を考えることにも抵抗が少ない。

また、「じどう車くらべ」の文章は、自動車の「しごと」と「つくり」が対応するように書かれており、児童が説明文の構成や表現の仕方を捉えるためのモデルとなる教材である。既習の文章を手掛かりにしながら、自分が選んだ自動車について必要な情報を集め、「しごと」と「つくり」を結び付けて書くことで、調べたことを文章に表す力を育てることができる。

さらに、「じどう車ずかんをつくる」という目的を明確にすることで、児童が「誰に、何を伝えたいか」を意識しながら書くことができる。教師の手本をそのまま写すのではなく、自分が選んだ自動車の特徴に合わせて必要な情報を選び、既習の文章の構成を生かしながら、自分の言葉で表現することができる教材である。

加えて、調べた自動車をグループで発表し合う活動を取り入れることで、友達の書き方のよさに気付いたり、自分の文章を見直したりすることができる。このような学習を通して、これまで「観察したことを言葉にすること」や「教師の手本をもとに文章を書くこと」に課題のあった児童も、自分が伝えたいことを明確にし、必要な情報を選んで文章に表す経験を積むことができると考える。

（3）単元について（単元観）

本単元では、前単元の「じどう車くらべ」を読んで分かったことを生かし、自分が選んだ自動車について調べ、事柄の順序を考えながら文章を書く力を育てることをねらいとする。

「じどう車くらべ」では、自動車の「しごと」と「つくり」が関連付けて説明されていることに気付かせ、説明文の基本的な構成や書き方について学習する。その学びを生かして、自分が興味をもった自動車について、「どんなしごとをするのか」「そのためにどのようなつくりになっているのか」を調べ、必要な情報を選んでまとめる活動へとつなげていく。

また、自分の好きな自動車を選んで図鑑をつくるという目的を明確にすることで、児童が主体的に学習に取り組めるようにする。調べた自動車をグループで発表し合う活動を取り入れ、自分の文章のよさや改善点に気付いたり、相手に分かりやすく伝えるための表現を考えたりすることを大切にする。

5 研究主題に迫るための手だて

【自己理解】

① 自分の文章のよさに気付かせるための工夫

・第1学年の発達段階は、まだ「よい文章とは何か」が分からない児童が多い。そのため、自分の考えに自信がもてない場合でも、自分の考えが肯定されることで、「しごと」と「つくり」を分けて書けていることに気付けるようにした。具体的には、発表を聞いた友達から、「すてき♡メッセージ」という自分の文章のよいところが書かれたメッセージカードをもらう活動を取り入れた。3～4人のグループで発表を行うことで、自分では気付けないよさにも気付くことができるようにした。振り返り活動では、友達からメッセージカードをもらって、「自分の文章にもよいところがあった。」「文章を書いてよかった。」「また、書きたい。」と感じる姿を、自己理解の姿として見取る。

【他者受容】

① 友達の文章のよさに気付き、伝えさせるための工夫

・事前に、発表を聞く際の観点を伝えることで、友達の文章のよさに注目して発表を聞くことができるようにした。児童にとって、メッセージカードをもらうことは喜びを感じる瞬間であり、その喜びの顔を見ることもまた、心が動かされる瞬間である。「もらうのが楽しみだな。」「友達が喜ぶことを書いて伝えたいな。」という気持ちから、メッセージカードを意欲的に書く姿が予想される。メッセージカードを書いて渡すという活動を通して、友達のよさに気付き、認められるようにした。

6 単元の指導と評価の計画（全5時間扱い）

次	時	学習活動	指導上の留意点	・評価規準 ○方法
1	1	・「じどう車ずかん」を作るという学習課題を知る。 ・紹介したい自動車を本や図鑑の中から1つ選ぶ。 ・「じどう車ずかん」の作り方を確かめ、学習の見通しをもつ。	・図鑑を見せて、イメージをもたせる。 ・「しごと」と「つくり」が分けて書いてある図鑑と、文章の中から自分で抜き出して書く図鑑があることを説明し、自分に合ったものを選ぶよう促す。 ・前単元を振り返りながら、「しごと」と「つくり」を書くことを確認する。	・分かりやすい説明の仕方について興味をもち、説明の順序に気を付けながら、見通しをもって自動車図鑑を作ろうとしている。 ○発言・記述
2	2・3	・本や図鑑などを使って、紹介したい自動車の「しごと」と「つくり」について調べる。 ・調べたことを基に、紹介したい自動車の「しごと」と「つくり」を文にまとめる。	・説明に必要だと思ったことを抜き書きするように指導する。 ・どのように文にまとめればよいか、「じどう車くらべ」の学習を振り返るなどして、確かめるようにする。	・事柄の順序など情報と情報の関係について理解している。 ○発言・記述 ・「書くこと」において、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている ○記述 ・分かりやすい説明の仕方について興味をもち、説明の順序に気を付けながら、見通しをもって自動車図鑑を作ろうとしている。 ○発言・記述
	4	・前時までの学習を基に、「じどう車しょうかいカード」を書く。 ・順序などに間違いがないか確認し、自動車の絵を描き、カードを完成させる。	・「しごと」と「つくり」は、違う内容であることを押さえ、まとまりが分かるように書き表し方を工夫させる。	
3	5 本時	・グループで「じどう車しょうかいカード」の発表会をする。 ・発表を聞いた人は、発表者へ「すてき♡メッセージ」を書く。 ・学習を振り返り、自分の文章のよいところを見付けて書く。	・メッセージカードに書く観点を事前に確認する。 ・伝えてもらった感想を振り返らせ、自分の文章のよさを見付けられるようにする。	・事柄の順序など情報と情報の関係について、注目しながら友達の発表を聞き合う。 ○発言・記述

7 本時の学習（5／5時間）

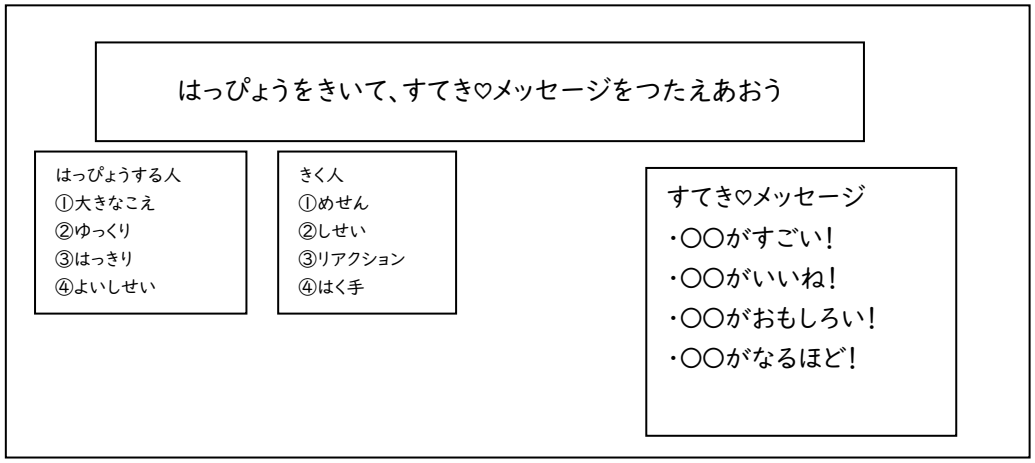
（1）本時のねらい

事柄の順序など情報と情報の関係について注目しながら、友達の発表を聞き合う。

（2）展開

	学習活動	・指導上の留意点 ○評価(評価方法)
導入	1 前時の学習を振り返り、本時のめあてを確認する。	・本時のめあて、進め方を確認する。
	はっぴょうをきいて、すてき♡メッセージをつたえあおう	
展開	2「じどう車しょうかいカード」を発表し合う。 ・グループ内で一人ずつ発表し、発表を聞いた児童は、メッセージカードによかった点を書く。他 ・○○のじどう車のしごとをはじめてしった。 ・○○ってすごいなとおもった。 ・○○できるのがすごいとおもった。 ・○○のことを、もっとしりたいとおもった。	他者受容① ・メッセージカードの観点を確認する。 「すてき♡メッセージ」の観点 ・すごいと思ったこと。 ・初めて知ったこと。 ・おもしろいと思ったこと。 ・もっと知りたいと思ったこと。 ・「すてき♡メッセージ」は自由形式と、選択形式のものを用意し、自分で選ばせ、感想を書くことが苦手な児童も自分で取り組めるようにする。 他者受容② ・メッセージカードを書く活動の中で、「友達のどんなところがすてきだった？」と問い掛け、友達の発表の内容や表現のよさに目を向けさせる。 ○事柄の順序など情報と情報の関係について、注目しながら友達の発表を聞いている。 （行動観察）
終末	3 友達からもらった「すてき♡メッセージ」を読み返し、振り返りシートを書く。自	自己理解① ・友達からもらったメッセージカードをゆっくり読み返す時間を設ける。 「自分が思っていたよさと同じメッセージがあった？」 「自分が思っていたよさと違うメッセージがあった？」 「自分の文章のどんなところがよかった？」 と問い掛け、自分の文章のよさについて、様々な視点から気付けるようにする。

（3）板書計画


はっぴょうをきいて、すてき♡メッセージをつたえあおう
はっぴょうする人
①大きなこえ
②ゆっくり
③はっきり
④よいしせい
きく人
①めせん
②しせい
③リアクション
④はく手
すてき♡メッセージ
・〇〇がすごい！
・〇〇がいいね！
・〇〇がおもしろい！
・〇〇がなるほど！